2027

令和９年度

私費外国人留学生選抜
学　生　募　集　要　項

令和８年 11 月

岩　手　大　学

目　　次

Ⅰ　岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）…… 1
Ⅱ　募集人員…… 16
Ⅲ　出願…… 17
　1　出願資格
　2　個別の出願資格審査
　3　出願手続
Ⅳ　障がい等を有する入学志願者との事前相談…… 23
Ⅴ　入学者選抜方法等…… 25
　1　入学者選抜方法
　2　入試日程等
　3　受験上の注意
　4　不正行為
Ⅵ　合格者の発表…… 27
Ⅶ　入学手続等の概要…… 28
　1　入学手続締切期日及び場所
　2　入学関係書類
　3　大学納付金
　4　入学料及び授業料の免除等制度
　5　その他の経費
　6　在留資格手続について
　7　理工学部の特別プログラム履修生の選抜方法について
Ⅷ　個人情報の取り扱い…… 29
Ⅸ　建物配置及び試験場案内図…… 30

同封してある出願書類等

① 入学志願票
② 写真票・受験票・入学検定料納入確認票
③ 払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・振替払込受付証明書（お客さま用）
④ 出願理由書
⑤ ラベル票

Ⅰ　岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

１　岩手大学入学者受入の方針

岩手大学は，地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として，国際的な視野を持ち，幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために，高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて，次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
○　地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
○　自然や人を思いやる心と倫理性
○　豊かな発想とチャレンジ精神，そしてコミュニケーション能力

入学者の選抜は，一般選抜（前期日程・後期日程），総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ・私費外国人留学生選抜），学校推薦型選抜の各選抜区分により実施します。（編入学試験を除く。）

各選抜にあたっては，学力の３要素（（１）知識・技能，（２）思考力・判断力・表現力等の能力，（３）主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度（主体性・多様性・協働性））を多面的，総合的に評価します。

２　学部別入学者受入の方針

人文社会科学部

１　学部概要

人文社会科学部は，グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と，人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し，地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

２　入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

（１）知識・技能・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し，物事を論理的に考えることができる人

（２）思考力・判断力・表現力

多様な考え方，異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち，物事を多角的に捉えるとともに，自分の考えを適切に表現し，それを積極的に発信できる人

（３）関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

（４）主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み，周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

３　入学前に修得しておくことを期待する内容　《学部共通》

・　国語：読解力及び自分の考えを表現できる作文力
・　英語：基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
・　地歴・公民：日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
・　数学：数学の基本的な概念を理解し，論理的に思考する力
・　理科：日常生活や社会に見られる科学的な事象に対する基礎的知識
・　情報：情報社会と情報通信技術，データ活用に関する基礎的知識
・　高校生活全般：他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力

※　具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

４　入学者選抜の基本方針　《学部共通》

（１）一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し，教科・科目に係る個別テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

（２）一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し，小論文では「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

（３）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価し，面接では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。また，出願理由書では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を，調査書では「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を確認します。

（４）私費外国人留学生選抜

小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価し，面接・出願理由書では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。また，日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【人間文化課程】

１　課程概要

人間文化課程は，多様な固有文化を育み，歴史的に継承されてきた地域のあり方と，そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し，グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材，及び地域の来歴を踏まえ，文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

２　入学者に求める資質（求める学生像）

（１）知識・技能・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識・技能を有し，物事を論理的に考えることができる人

（２）思考力・判断力・表現力

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに，自分の考えを適切に表現し，それを積極的に発信できる人

（３）関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について地域及び世界双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

（４）主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし，周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

１　課程概要

地域政策課程は，東日本大震災の復興から，未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え，地域創生・地域マネジメントへの課題に，法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら，総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

２　入学者に求める資質（求める学生像）

（１）知識・技能・理解

法学・経済学・環境学について学ぶための基礎的知識・技能を有し，物事を論理的に考えることができる人

（２）思考力・判断力・表現力

複雑に絡み合う法・経済・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに，自分の考えを適切に表現し，それを積極的に発信できる人

（３）関心・意欲

現代の社会をめぐる諸問題について，法学・経済学・環境学の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

（4）主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし，周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

（1）選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	提示した問題・課題を通して，「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して，「思考力・判断力・表現力」に関する基礎的な能力を判定する。
面接	学校推薦型	推薦書・出願理由書・調査書に関する質疑を行うことによって「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって，「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を，これまでの勉学や様々な活動を通じて育まれた問題意識，本学部の教育内容，大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を判定する際の１つの資料にする。
調査書	学校推薦型	高等学校での科目の履修状況に加えて，教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動，各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を判定する際の１つの資料とする。

（2）選抜に活用する内容の重点評価項目

学力の３要素・評価項目 ／ 選抜方法等		（1）知識等	（2）思考力等	（3）主体性等	
		知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期）	○	○		
教科・科目に係る個別テスト	一般（前期）	○	○		○
小論文	一般（後期）		○		○
	学校推薦型 私費外国人留学生		○		
面接	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
調査書	学校推薦型	○			○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

※一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程）においては調査書は，高大接続及び学力の３要素評価の観点から，総合判定時の資料として活用します。

理工学部

1　学部概要

我が国が目指す未来社会で必要とされる情報リテラシーと確かな専門性を併せ持ち，地球環境問題をはじめとする国際社会ならびに地域社会が抱える諸課題の解決に貢献できる理工系人材を育成します。

2　入学者に求める資質

＜理工学部・理工学科共通＞

【知識・技能】

・　高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲を持つ人

・　理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　修得した知識と技能を組み合わせて，論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに，それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　自らが選択する専門分野の学修に，主体的に取り組もうとする人

・　大学での学びのなかで，広く社会との関わりに関心を持ち，積極的に多様な人々と協働しようとする人

＜クリエイティブ情報コース（総合型選抜）＞

【知識・技能】

・　高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，情報デザインに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　修得した知識と技能を組み合わせて，創造的な思考・判断ができるとともに，それを他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　情報や情報技術について学んだことを主体的に活用しようとする人

・　多様な価値観を理解し，様々な分野の人と協働しようとする人

＜クリエイティブ情報コース（総合型選抜（女子枠））＞

【知識・技能】

・　高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，情報デザインに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　修得した知識と技能を組み合わせて，創造的な思考・判断ができるとともに，それを他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　情報や情報技術について学んだことを主体的に活用しようとする人

・　多様な価値観を理解し，様々な分野の人と協働しようとする人

・　理工学分野における女性の活躍の意義を理解し，社会の多様性を尊重しながら，積極的に他者と協働しようとする人

＜電気電子・情報通信コース，機械知能航空コース（総合型選抜（女子枠））＞

【知識・技能】

・　高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲を持つ人

・　理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　修得した知識と技能を組み合わせて，論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに，それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　自らが選択する専門分野の学修に，主体的に取り組もうとする人

・　理工学分野での女性の活躍が社会的にもつ意義を理解し，社会の多様性を尊重しながら，積極的に他者と協働することを目指す人

＜データサイエンス応用オープンクラス（一般選抜・前期日程）＞

【知識・技能】

・　高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，データサイエンスに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　修得した知識と技能を組み合わせて，創造的な思考・判断ができるとともに，情報系技術を活用してそれらを表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　データサイエンスについて学んだことを主体的に活用しようとする人
・　多様な価値観を理解し，様々な分野の人と協働しようとする人

＜地域協創ものづくりプログラム（総合型選抜）＞

【知識・技能】

・　工学を学ぶために必要な基礎的な学力を持つ人
・　ものづくりに対する経験を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　ものづくりを実践するために必要な思考力と判断力を持つ人
・　ものづくりを実践するために必要なコミュニケーション能力を持つ人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　ものづくりに関心を持ち，独自技術を開発したいという意欲を持つ人
・　地域課題に関心を持ち，主体性を持って協働できる人

＜地域防災・まちづくりプログラム（総合型選抜）＞

【知識・技能】

・　防災・まちづくりに関する専門分野を学ぶうえで必要な基礎的な知識や技能を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

・　災害に強い社会の実現のために，防災・まちづくりの専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち，広い視野で適切に判断できる力を持つ人
・　周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ，必要な相手に防災・まちづくりの専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し，伝えることができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

・　自然と調和しながらも災害に強い社会の構築のために，防災・まちづくりに関する様々な課題に関心を持ち，新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人
・　防災・まちづくりに関する様々な地域課題において，主体的に創造性豊かな発想ができ，マネジメント力を持つ人

３　入学前に修得しておくことを期待する内容

・　数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」の内容の理解と数学的思考力（高等学校で修得していない科目がある場合は，入学後に理工学部が開講する高大連携科目の履修が必要となります。）
・　理科：「化学基礎・化学」「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力（化学コースへの進級を考えている方には，「生物基礎・生物」の内容も修得していることを期待します。）
・　国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としての読解力，思考力，およびコミュニケーション能力
・　情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
・　その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

４　入学者選抜の基本方針

（ア）一般選抜（前期日程・後期日程）

入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識とその展開力，および理工学部学生としての自然科学全般への俯瞰的視野を重視し，理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストで「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価し，調査書による「主体性・協働性」の評価と総合して選抜します。

なお，データサイエンス応用オープンクラスでは，大学入学共通テストにおける情報Ⅰの成績を重視します。

（イ）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

口頭試問または基礎能力試験で主に「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価し，調査書によって「知識・技能」「主体性・協働性」を評価し，個人面接による「関心・意欲」の評価も併せて総合的に評価します。選抜にあたっては専門分野への関心・意欲も重視します。

（ウ）総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

・ 地域協創ものづくりプログラム

第１次選考は書類審査を行います。提出された自己推薦書・志望理由書により，「思考力・判断力・表現力等の能力」および「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第２次選考は面接とプレゼンテーションを行います。個人面接の口頭試問では「知識・技能」をより詳細に評価します。プレゼンテーションでは「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重点的に評価するとともに「思考力・判断力・表現力等の能力」についても併せて評価します。

本選抜においては，工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし，各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに，「主体性のあるものづくり経験が豊富な学生」の受入を目的としています。

・ 地域防災・まちづくりプログラム

第１次選考は，調査書および自己推薦書を基に評価します。第２次選考は，面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第１次選考と第２次選考の２段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・協働性」を重点的に評価し，防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績，または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

（エ）総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

・ クリエイティブ情報コース

プレゼンテーション試験では，提出された調査書とプレゼンテーションにより「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価するとともに，クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価します。学力検査では，大学入学共通テストにより，クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。選抜は，プレゼンテーション試験と学力検査の結果を総合的に判断します。

・ 電気電子・情報通信コースおよび機械知能航空コース

面接試験では，電気電子・情報通信コース，もしくは機械知能航空コースで学ぶにふさわしい「考察力・表現力・コミュニケーション能力」や，それぞれの専門を学ぶ上で必要とされる適性を評価します。また，岩手大学で学びたいことや，自身の将来像をふまえた志望動機について，論理的かつ明快に説明する能力により「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価します。学力検査では，大学入学共通テストにより，電気電子・情報通信コース，もしくは機械知能航空コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。

（オ）私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

（カ）その他（第３年次編入学試験）

高等専門学校や短期大学理工系学部を卒業，または，大学の理工系学部などの教育機関に２年次まで就学し，さらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用），専門科目（筆記試験または口頭試問）または数学（筆記試験））および面接を総合して選抜します。なお機械知能航空コースでは在学中の成績の提出を求め，選考資料とします。

別表　選抜に活用する選抜方法の内容とその評価項目

（1）選抜に活用する選抜方法の内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
教科・科目に係る個別テスト	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
個人面接	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学試験	志望理由等について面接を行い，提出書類に関する確認を行います。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等も評価します。
個人面接 （口頭試問を含む）	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	面接および口頭試問により志望理由を確認するとともに，基礎学力を評価します。編入学試験においては，専門分野の学修に必要とされる専門知識を評価します。
基礎能力試験	学校推薦型	高等学校等での学習内容に関する基礎知識や思考力を評価します。
プレゼンテーション	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	出題された課題に対するプレゼンテーションを通して，志望するコースやプログラムに対する「関心・意欲」「思考力・判断力」「表現力・コミュニケーション能力」「主体性・創造性・協働性」を総合的に評価します。
日本留学試験	私費外国人留学生	日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
出願理由書・志望理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ 私費外国人留学生	志望理由が，入学者受入の方針に合致しているかを評価します。
推薦書・自己推薦書	学校推薦型 総合型Ⅰ	専門の学修に対する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	「主体性・協働性」について評価するとともに，総合判定の資料として活用します。
成績証明書・調査書	編入学試験 （機械知能航空コースのみ）	基礎学力を確認するために，成績証明書と調査書を用い，高等専門学校や短期大学等での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を併せて総合的に評価します。
TOEIC Listening & Reading Test	編入学試験	英語の学力を評価します。

（2）選抜に活用する選抜方法の重点評価項目（入学者選抜方法と求める学生像との関係性）

学力の３要素・評価項目 / 選抜方法等		（1）知識等	（2）思考力等		（3）主体性等	
		知識・技能	思考力・判断力	表現力	関心・意欲	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	◎	○			
教科・科目に係る個別テスト	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	◎	○			
個人面接	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学試験			○	◎	○
個人面接（口頭試問を含む）	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	◎	○	○	◎	○
基礎能力試験	学校推薦型	○	◎	◎		
プレゼンテーション	総合型Ⅰ		◎	◎	○	○
	総合型Ⅱ		◎	◎	◎	◎
出願理由書・志望理由書・（自己）推薦書	学校推薦型			○	◎	○
	総合型Ⅰ				◎	○
	私費外国人留学生				◎	○
日本留学試験	私費外国人留学生	◎	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	○	○	○	○	◎
成績証明書・調査書	編入学試験（機械知能航空コースのみ）	◎	○			○
TOEIC Listening & Reading Test	編入学試験	◎				

※一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程）において調査書は，総合判定の資料として活用します。

農学部

1　学部概要

農学部は，幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として，農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における，基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより，地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2　入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

（1）知識・技能・理解

・　農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（2）思考力・判断力・表現力

・　農学分野に関する諸問題を全体的な視点から見出し，論理的にとらえ，探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

（3）関心・意欲・態度

・　学びで得た知識や経験，理論や技術を，明確な目的をもって農学および現実社会の諸課題の解決に生かす意欲のある人

（4）主体性・協働性

・　農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに，創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3　入学前に修得しておくことを期待する内容《学部共通》

・　理科，数学，情報：内容の理解と応用力
・　英語，国語：基礎的な読解力，表現力，文章力
・　地歴・公民：基礎的内容の理解

※　具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

4　入学者選抜の基本方針《学部共通》

（1）一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（2）一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（3）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

教科・科目に係る個別テスト（総合科目）で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を，調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

（4）総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

教科・科目に係る個別テストおよび課題論文で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し，個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。出願理由書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し，調査書で「知識・技能・理解」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（5）総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し，調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

（6）私費外国人留学生選抜

日本留学試験で，日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【食料農学科】

1　学科概要

食料農学科では，人類の生存基盤である食料の生産とそれを基にした食品に関わる知識と技術の教育と研究を行い，地域・国際社会での食料生産，食品供給，健康分野における課題解決や新しい価値の創出を通じて，健康で持続的な食料と食品の生産・供給を担う人材を育成します。

2　コース概要

＜農学コース＞

農学コースでは，農作物の栽培技術の高度化とその生産基盤となる土壌の保全，植物の生産性・機能性の向上，品種開発，植物ウイルスを利用した先端技術の開発，食料安全保障を支える政策・戦略などに関わる教育・研究を通じて，持続的な食料生産のため農業および食品産業の問題解決に貢献できる人材を育成します。

＜食品健康科学コース＞

食品健康科学コースでは，食材や食品，その成分の物理的・化学的特性，高度な食品加工に関する知識や技術，食品，栄養および天然資源の健康機能性などに関わる教育・研究を通じて，国内外の食品産業の発展や超高齢社会において食を通じた人の健康に寄与できる科学的な知識と広い視野を備えた人材を育成します。

3　入学者に求める資質（求める学生像）

＜農学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 農学および農学を取り巻く学問体系を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- 農作物や農業生物を有益な資源として生かすために技術を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 持続的な食料の安定生産・供給を実現するための戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- グローバルな視点から，農業および食品産業の抱える諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人

＜食品健康科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 食品素材の特性の解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- 食品・栄養成分の体内での動きの解明とその健康への関わりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- 食品・栄養成分，天然資源の化学的特性と生体利用の解明について専門的知識を修得する意欲のある人
- 食や健康に関する課題に対応した高度な食品加工に関する知識と技術を修得する意欲のある人

【生命科学科】

1　学科概要

生命科学科では，生命科学，すなわち植物学・動物学・微生物学・健康科学など様々な学問の基礎的かつ共通部分における分子レベルでの知識と理解をベースに，様々な問題を解決し教育に展開することで，地球環境問題の解決，種の多様性の次世代への保存，健康寿命の延長など，次世代の諸問題の解決を先導できる人材を育成します。

2　コース概要

＜分子生物機能学コース＞

分子生物機能学コースでは，微生物，植物，昆虫，動物など様々な生き物の細胞や個体レベルで見られる多種多様な生物機能に関する分子レベルの解明を教育に還元することで，自ら発想し行動する力，独創性ならびに柔軟な対応力を養成し，グローバル化する社会でその力を発揮できる，自律性や判断力を持つ人材の養成を行います。

＜分子生命医科学コース＞

分子生命医科学コースでは，微生物から動物，ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解明し，その知見を健康衛生，疾病の予防，再生医療技術などに生かし，人々の生活の質向上に寄与できる人材を育成します。

3　入学者に求める資質（求める学生像）

＜分子生物機能学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 微生物，植物，昆虫，動物などの生物機能を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- 生物機能の分子レベルでの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 生物機能に関する知識を修得し，実験，研究科目を学ぶ中で，自ら発想し行動できる人
- 教育成果をベースにバイオテクノロジーのフロンティアを築くことができる人

＜分子生命医科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 生物多様性の重要性，感染症や疾患，老化現象を分子レベルで学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- 生命現象の分子レベルでの解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 健康衛生，疾病の予防，再生医療技術などに生かし，人々の生活の質向上に寄与できる人
- 生命科学に関わる諸問題に取り組み，活躍することができる人

【地域環境科学科】

1　学科概要

地域環境科学科では，持続可能な食と農の科学，地域生態系の保全，森林資源の管理と持続的な利用，持続的農業生産と環境管理，農業インフラの整備，スマート農業システムの導入，グリーントランスフォーメーションについて，地球環境問題とSDGs達成を念頭に置いた教育を介して，未来の農林業を担う人材を育成します。

2　コース概要

＜革新農業コース＞

革新農業コースでは，農業と食を切り拓く革新的な農業技術について総合的に学びます。これをもとに，グローバルな視点と高度な専門知識を備えて地域農業を先導するとともに，持続可能な食料・農業・農村システムの実現に向けた取り組みを通じてSDGs達成に貢献できる人材を育成します。

＜森林科学コース＞

森林科学コースでは，東北地域の恵まれた自然環境を背景として，森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用，自然生態系の保全・管理，防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これをもとに，自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

3　入学者に求める資質（求める学生像）

＜革新農業コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 農業生産インフラ整備と農村環境の保全，地域のネットワークづくりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- スマート農業，次世代型食料システムの創出に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全，および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- スマート農業，持続的な食料供給システムと資源の有効利用に関する最新技術を学ぶ意欲のある人

＜森林科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 多様な機能を発揮できる森づくりと林産資源の利用に必要な知識と技術を学ぶ意欲のある人
- 里地里山を含む地域生態系の保全と管理および防災の方策について学ぶ意欲のある人

【動物科学・水産科学科】

1　学科概要

動物科学・水産科学科では，畜産物および水産物の生産と供給を担う２つの産業基盤を背景とした教育・研究を行うとともに，野生動物や海洋生物の生理・生態とそれらの有益な利用方法に関する知識および技術の教育・研究を行い，動物・水産資源の安定的な生産と供給，その高度利用に貢献する人材を育成します。

2　コース概要

＜動物科学コース＞

動物科学コースでは，産業動物生産（畜産）と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤とし，産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明，遺伝的改良と増殖，飼料生産と栄養・飼養，および動物資源の有効利用などを通じて，人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材を育成します。

＜水産システム学コース＞

水産システム学コースでは，水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤とし，水産資源の生産（漁獲，増養殖）から，加工，流通にいたる一連のシステムを体系的に教育し，釜石キャンパスを活用することで，三陸沿岸域の水産業の復興，わが国の水産業成長産業化に寄与できる人材を育成します。

3　入学者に求める資質（求める学生像）

＜動物科学コース＞

（１）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（２）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 動物科学への強い関心を有し，課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- グローバルな視点から，動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

＜水産システム学コース＞

（１）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 水産資源の管理・生産，その利活用，流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

（２）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち，東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち，問題解決に取り組む意欲のある人
- 高い倫理観を持ち，持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

（1）選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
教科・科目に係る 個別テスト ＜教科＞	総合型Ⅰ 一般（前期）	筆記試験により基礎学力について評価します。
教科・科目に係る 個別テスト ＜総合科目＞	学校推薦型 編入学	文章を客観的に読解把握する力，内容に対する自らの考え方を述べる力，農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ・Ⅱ 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	複数の面接担当者による個人面接を行います。また，基礎学力を確認するために，口頭試問を行います。
課題論文	総合型Ⅰ	提示した問題・課題を通して，自然科学的創造型思考力を評価します。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ・Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し，面接時に評価します。
調査書＊	学校推薦型 総合型Ⅰ・Ⅱ 編入学	学習の記録を中心に総合的に評価します。

（2）選抜に活用する内容の重点評価項目

学力の３要素・評価項目 ／ 選抜方法等		（1）知識等	（2）思考力等	（3）主体性等	
		知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	○	○		
教科・科目に係る 個別テスト ＜教科＞	一般（前期） 総合型Ⅰ	○	○		
教科・科目に係る 個別テスト ＜総合科目＞	学校推薦型 編入学	○	○		
課題論文	総合型Ⅰ	○	○		
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ・Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	○	○	○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ・Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書＊	一般（前期）			○	○
	学校推薦型 総合型Ⅰ・Ⅱ 編入学	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

＊一般選抜（後期日程）においては，調査書は，高大接続及び学力の３要素評価の観点から，総合判定の資料として活用します。

獣医学部

1　学部概要

獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき，高度獣医療の提供，人類の健康と食の安全，生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2　入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 動物の生命現象と病態に関する課題を探求し，グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- 動物の生命現象と病態に関心を持ち，それを継続して探求しようとする意欲のある人
- 自己を啓発し実行力に優れ，獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- 獣医師として，国際的な交流・協力を推進し，世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

3　地域枠入試で求める学生像

上記の入学者に求める資質に加え，卒業後に産業動物獣医師に就業する明確な意思を持ち，産業動物獣医師として地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます。

4　入学前に修得しておくことを期待する内容

- 理科，数学，情報：内容の理解と応用力
- 英語，国語：基礎的な読解力，表現力，文章力
- 地歴・公民：基礎的内容の理解

※　具体的な履修要件や入試科目は，選抜区分や学部等毎で個別に示しますので，各募集要項で確認してください。

5　入学者選抜の基本方針

（1）一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（2）総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し，調査書で「知識・技能・理解」「関心・意欲・態度」「主体性・協調性」を総合的に評価します。

（3）私費外国人留学生選抜

日本留学試験で，日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

（1）選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
個人面接	総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。総合型Ⅱでは，当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し，面接時に評価します。
調査書	一般（前期） 総合型Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。

（2）選抜に活用する内容の重点評価項目

学力の３要素・評価項目 / 選抜方法等		（1）知識等	（2）思考力等	（3）主体性等	
		知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 総合型Ⅱ	○	○		
教科・科目に係る個別テスト＜教科＞	一般（前期）	○	○		
個人面接	総合型Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書	一般（前期）			○	○
	総合型Ⅱ	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

総合型選抜Ⅱで第１段階選抜を行う場合は，出願理由書，調査書をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。

Ⅱ　募集人員

学　部	学　科　・　課　程　等			募集人員
人文社会科学部	人　間　文　化　課　程			若干名
	地　域　政　策　課　程			若干名
理工学部	理　工　学　科	化　学　ク　ラ　ス		若干名
		数　理　・　物　理　ク　ラ　ス		若干名
		材　料　科　学　ク　ラ　ス		若干名
		情報系クラス	知　能　情　報　コ　ー　ス	若干名
			クリエイティブ情報コース	
		電　気　電　子　・　情　報　通　信　ク　ラ　ス		若干名
		機　械　知　能　航　空　ク　ラ　ス		若干名
		社　会　基　盤　・　環　境　工　学　ク　ラ　ス		若干名
農学部	食　料　農　学　科	農　学　コ　ー　ス		若干名
		食　品　健　康　科　学　コ　ー　ス		若干名
	生　命　科　学　科	分　子　生　物　機　能　学　コ　ー　ス		若干名
		分　子　生　命　医　科　学　コ　ー　ス		若干名
	地　域　環　境　科　学　科	革　新　農　業　コ　ー　ス		若干名
		森　林　科　学　コ　ー　ス		若干名
	動物科学・水産科学科	動　物　科　学　コ　ー　ス		若干名
		水　産　シ　ス　テ　ム　学　コ　ー　ス		若干名
獣医学部	共　同　獣　医　学　科			若干名

Ⅲ　出　　願

大学入学共通テストを免除し，本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等（小論文，面接），日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生選抜を行います。

なお，理工学部のみ，大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等（小論文，面接）を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生選抜を行います。

1　出願資格

次の⑴，⑵，⑶の全てに該当する者

⑴　日本国籍を有しないで，出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

⑵　次のアからクのいずれかに該当する者

ア　外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

ウ　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

エ　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

オ　グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

カ　欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格を有する者

キ　国際的な評価団体（ＷＡＳＣ，ＣＩＳ，ＡＣＳＩ，ＮＥＡＳＣ，Ｃｏｇｎｉａ，ＣＯＢＩＳ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの者

ク　本学において，個別の出願資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和９年３月 31 日までに 18 歳に達する者

⑶　志願する学部の指定する日本留学試験を受験した者

ただし，理工学部，農学部及び獣医学部を志願する者は，次の要件も満たしていること。

ア　理工学部志願者は，日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解）の合計が，260 点以上であること。

イ　農学部志願者は，日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解，記述），数学及び理科（２科目）の各科目の得点が平均点以上であること。

ウ　獣医学部志願者は，日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解），数学及び理科（２科目）の合計が 640 点以上（そのうち日本語の合計が 300 点以上），かつ日本語記述の得点が 35 点以上であること。

注１）　⑵のクの資格で出願しようとする者は，次ページの「２　個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。（⑵のアに該当する場合を除く）

注２）　日本国籍を有しない者であっても，日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者又は同等以上の資格を得た者及び日本の永住許可を得ている者は，一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり，この入試には出願できません。

2　個別の出願資格審査

本学に「1　出願資格」⑵のクの資格で出願しようとする者については，次のとおり出願資格審査を行います。**出願資格審査は該当者のみ必要**となります。出願に先立って，自身の該当する出願資格を必ず確認してください。

⑴　出願資格審査の対象者

①　高等学校に相当する，外国人を対象に教育を行うことを目的とした教育施設を卒業（修了）した者又は令和９年３月31日までに卒業（修了）見込みの者

②　各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が，高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

⑵　申請期間及び申請方法

出願資格の認定を受けようとする者は，下記期日までに申請書類を取りそろえて申請してください。

人文社会科学部，理工学部，農学部及び獣医学部　　令和８年11月27日（金）

なお，日本国内から郵送する場合は，必ず書留郵便で，日本国外から郵送する場合は，必ず国際スピード郵便（EMS）で郵送してください。

また，封筒の表に「大学出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

⑶　申請書類等

①「⑴　出願資格審査の対象者」の①に該当する者

ア　出願資格認定申請書（所定の用紙）

イ　当該教育施設の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書（必ず原本を提出してください。）

ウ　当該教育施設の成績証明書又は調査書（必ず原本を提出してください。）

エ　当該教育施設の学則（規則）等

オ　当該教育施設のカリキュラム（修業年限，授業時間数，授業科目，必要単位数等が明記されたもの）

②「⑴　出願資格審査の対象者」の②に該当する者

ア　出願資格認定申請書（所定の用紙）

イ　各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

※「出願資格認定申請書用紙」は，岩手大学学務部入試課（次ページ⑻参照）まで請求するか，本学ウェブサイト（https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/requirements.html）からダウンロードしてください。

※　必要に応じて，上記以外の書類の提出を求める場合があります。

※　受理した申請書類等の返還は認めません。

※　外国語で記載された証明書には，日本語訳を添付してください。

⑷　審査の方法及び審査期間

審査は，提出された申請書類により行います。

なお，審査は原則として下記期日までに行います。

人文社会科学部，理工学部，農学部及び獣医学部　　令和８年12月４日（金）

⑸　審査基準

①　「⑴　出願資格審査の対象者」の①に該当する者

申請者の当該教育施設の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し，高等学校と同等以上であるかを審査します。その結果，高等学校の教育内容と同等以上と認められ，かつ申請者が必要単位を修得（修得見込み）している場合は，原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

②　「⑴　出願資格審査の対象者」の②に該当する者

申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し，高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。その結果，学習歴等について高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた場合は，原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

⑹　審査結果の通知

審査の結果，出願資格を認められた者については，下記期日までに申請者あてに「岩手大学出願資格認定書」を送付します。

なお，出願資格を認められなかった者については，理由を付して結果を送付します。

人文社会科学部，理工学部，農学部及び獣医学部　　令和８年12月11日（金）

⑺　岩手大学入学者選抜試験の受験について

「岩手大学出願資格認定書」の交付を受けた者は，本学の入学者選抜試験に出願することができます。**出願の際は，必ず「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。**

⑻　送付先及び問い合わせ先

岩手大学学務部入試課

〒 020-8550　岩手県盛岡市上田三丁目 18 － 8　　☎ 019 － 621 － 6064

３　出願手続

⑴　出願方法

出願書類等を取りそろえ，郵送又は持参により提出してください。郵送する場合は，封筒の表に，**「私費外国人留学生選抜出願書類在中」**と朱書きしてください。

なお，日本国内から出願する場合は，必ず**速達書留**で，日本国外から出願する場合は，必ず**国際スピード郵便（EMS）**で郵送してください。

⑵　出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課（Admissions Office, Iwate University）

〒 020-8550　盛岡市上田三丁目 18 － 8（3-18-8 Ueda, Morioka, Iwate, 020-8550 JAPAN）

⑶　出願受付期間

人文社会科学部，理工学部，農学部及び獣医学部

令和９年１月 20 日（水）から１月 22 日（金）まで【必着】

持参の場合，受付時間は月曜日から金曜日の９時から 16 時までです（ただし，祝日を除く）。

出願書類等は，出願受付期間内に届くよう余裕をもって提出してください。

出願受付期間を過ぎて到着したものは受け付けません。

⑷　出願書類等

書　類　等	留　意　事　項
①入学志願票	・　所定の用紙に**志願者本人が日本語**で記入してください。ただし，氏名欄はアルファベットで，パスポートと同じ表記で記入してください。
②写真票・受験票・入学検定料納入確認票	・　**太枠線内に，志願者本人が記入してください。** ・　氏名欄はアルファベットで，パスポートと同じ表記で記入してください。 ・　写真票には写真（縦４㎝×横３㎝）を貼ってください。 ・　検定料の納入については，22ページの「⑸検定料の納入方法」に従ってください。 ・　**検定料は，出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。** ・　災害救助法適用地域における検定料免除措置については，22ページの「⑹検定料免除」を確認してください。
③出願理由書	・　所定の用紙に**志願者本人が日本語**で記入してください。
④出願資格を有することの証明書 **※　外国語で記載された証明書には，日本語訳を添付すること。（注）**	a. 出願資格⑵のアの学校教育における12年の課程を修了（見込み）の者 ＊　出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の発行する卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書（必ず原本を提出してください。） ＊　我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は，その証明書（該当者のみ） b. 出願資格⑵のアの文部科学大臣の指定した者で出願する者 ＊　当該国の検定に合格したことを証明する書類等 ＊　我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は，その証明書（該当者のみ） c. 出願資格⑵のイにより出願する者 ＊　国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し d. 出願資格⑵のウにより出願する者 ＊　アビトゥア資格証書の写し e. 出願資格⑵のエにより出願する者 ＊　バカロレア資格証書の写し f. 出願資格⑵のオにより出願する者 ＊　GCE・Aレベル又はインターナショナルAレベルの成績評価証明書の写し g. 出願資格⑵のカにより出願する者 ＊　欧州バカロレア資格証書の写し h. 出願資格⑵のキにより出願する者 ＊　出身教育施設（日本の高等学校に相当する施設）の発行する修了証明書又は修了見込み証明書（必ず原本を提出してください。） ＊　当該教育施設が評価団体から認定を受けた証明書 i. 出願資格⑵のクにより出願する者 ＊　18ページの「２　個別の出願資格審査」手続により，本学から送付された「岩手大学出願資格認定書」の写し
⑤日本留学試験の受験票の写し	・　独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度日本留学試験（第１回又は第２回実施のいずれか）の**受験票の写し**を提出してください。 ＊　成績確認書ではありませんので，注意してください。
⑥成績証明書又は当該検定等の成績証明書 **※　外国語で記載された証明書には，日本語訳を添付すること。（注）**	・　成績証明書については出身学校が作成したもの，当該検定等の成績証明書については当該検定実施機関が作成したものを提出してください。なお，**必ず原本を提出してください。** **・「飛び級」や「繰り上げ卒業」の事実があれば，その証明書も提出してください。** ・　出願資格⑵のアで，我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は，その成績証明書も併せて提出してください。

⑦国籍及び在留資格等を確認できるもの **※　外国語で記載された証明書には，日本語訳を添付すること。（注）**	a. 日本で住所地の届け出を行っている場合 「住民票」を取得の上，提出してください。なお，下記の記載事項が省略されないように注意してください。 志願者本人の氏名，生年月日，性別，住所，国籍，中長期在留者・特別永住者等の区分，在留カード番号，在留情報（在留資格，在留期間及び在留期間の満了日） ※　個人番号（マイナンバー）が明示されていないものを提出してください。 b. a 以外の場合 パスポート（旅券）の写し（志願者本人の氏名，生年月日，性別が記載された部分），本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のいずれかを提出してください。 なお，出願時において日本国の在留資格を有する場合は，「在留カード」（両面）又はパスポートの日本国査証部分の写しも提出してください。
⑧合格通知用ラベル票	・　所定の用紙に必要事項を志願者本人が記入してください。 ・　合格通知を受け取る所が日本国外の場合，住所は英語で記入してください。
⑨その他の書類	・　検定料免除を申請する者は，検定料免除申請書に必要な書類を添えて提出してください。
⑩受験番号通知に必要なデータ登録	・　志願者は，出願書類の提出に加えて，下記の Web フォームから必要事項を登録してください。 登録期間：令和９年１月 18日（月）０時から１月 22 日（金）16 時まで 登録項目：氏名，出願する学部及び課程・コース等，確実に連絡を取ることができるメールアドレス ※　携帯電話のメールアドレスは不可 【Web フォーム】 https://forms.cloud.microsoft/r/Ni48bZ75x6

注）**日本語訳は，志願者本人が日本語訳したものでも構いません。**

⑸ 検定料の納入方法

ア）日本国内で払い込む場合

検定料 17,000 円（別途払込手数料が必要です。）を同封している「払込取扱票」を使用し，**必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。**（ATM は利用しないでください。）

払込後，受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認の上，「②写真票・受験票・入学検定料納入確認票」の所定の欄に貼ってください。

イ）日本国外から送金する場合

次の要領に従って，現地の金融機関から検定料 17,000 円を送金してください。

日本国内外の金融機関で発生する**全ての手数料は依頼人負担になります。**送金手続を行う現地の金融機関に手数料の額を確認し，検定料 17,000 円が指定口座に到着するように手続してください。

送金後，**外国送金依頼書の写しを出願書類等と一緒に提出してください。**

送金には時間がかかりますので早めに手続を行い，必ず出願受付期間内に指定口座に到着するようにしてください。

送金種類		電信送金（Telegraphic Transfer）
支払方法		通知払（Advise and Pay）
支払等手数料		依頼人負担（Payer Account）
送金金額		¥17,000
送金目的		検定料（Application Fee）
送金する金融機関	銀行名	みずほ銀行（MIZUHO BANK，LTD.）
	支店名	盛岡支店（MORIOKA BRANCH）
	銀行住所等	〒 020 － 0871 岩手県盛岡市中ノ橋通１－５－８ （１－５－８ Nakanohashidori, Morioka, Iwate, 020 － 0871, JAPAN） tel. +81 － 19 － 622 － 2161
	口座番号	普通預金口座　８０４６３８４（ORDINARY DEPOSIT ACCOUNT NO.8046384）
	口座名義	国立大学法人岩手大学（IWATE UNIVERSITY）
	スウィフト・コード（swift code）	ＭＨＣＢＪＰＪＴ

注）送金依頼人は志願者の氏名としてください。

⑹ 検定料免除

岩手大学では，**災害救助法適用の災害により被災した方**が，経済的な理由により大学進学を断念することがないよう，申請に基づき審査の結果，許可された方に対して**検定料の免除措置を講じます。**申請する方は，出願手続の際に一緒に申請手続を行ってください。

なお，申請手続をする場合は，本学ウェブサイト（https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html）を確認の上，岩手大学学務部入試課（☎ 019 － 621 － 6064）に問い合わせてください。

⑺　出願書類等提出上の注意

①　出願書類を本学へ提出（郵送）した後は，出願の取り下げは認めません。出願にあたっては，十分検討のうえ手続してください。

②　出願書類等受理後は，いかなる理由があっても志望学部，学科，課程，コース等の変更は認めません。

③　出願書類等に次のような不備があるものは受理しませんので，注意してください。

ア　記入漏れ，誤記入のあるもの

イ　検定料に不足のあるもの

ウ　その他，提出すべき必要な書類が添付されていないもの

④　出願書類の記入にあたっては，それぞれの記入要領及び注意書きを参照し，楷書で正しく明確に記入してください。

⑤　出願書類等の提出後，現住所等に変更があった場合は，速やかに岩手大学学務部入試課へ連絡してください。

⑥　本学への提出（郵送）後の出願書類は，受理・不受理問わず返還しません。

⑦　出願書類等に虚偽の記載があった場合は，入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

⑻　受験番号の通知

①　出願書類を受理した後，登録したメールアドレスあてに受験番号を通知しますので，必ず確認してください。

②　理工学部の志願者については令和９年２月２日（火），人文社会科学部，農学部及び獣医学部の志願者については令和９年２月10日(水）を過ぎても受験番号通知メールが届かない場合は，岩手大学学務部入試課(☎019－621－6064）に問い合わせてください。

Ⅳ　障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，下記期日までに，「事前相談について」（所定様式）を提出してください。提出の際は本学ウェブサイト（https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html）からダウンロード，もしくは次ページ掲載の様式をご利用ください。

理工学部　　令和８年12月４日（金）

人文社会科学部，農学部及び獣医学部　　令和９年１月８日（金）

なお，必要により，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので，できるだけ早めに提出してください。

また，上記期日後に不慮の事故等により，受験上の特別な配慮が必要となった場合には，速やかに連絡してください。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550　盛岡市上田三丁目18－8

年　　月　　日

岩 手 大 学 長　殿

氏　　名
（志願者との関係　　）
住　　所
電　　話　　－　　－

事前相談について

下記により事前に相談したいので，関係書類を添えて提出します。

記

1　志願者氏名等

ふりがな 氏　　名	男・女	生年月日	年　月　日生
現 住 所	〒　－ 電話　－　－		
出身学校名	電話　－　－		

2　志願学部等名

学部・学科等	学部		学科 課程			コース クラス
出願区分 （出願区分を○で囲む）	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	学校推薦型	私費外国人	前期日程	後期日程

3　障がいの種類・程度

4　受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5　修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6　出身学校在学中にとられていた特別な配慮

7　日常生活の状況

8　添付書類
(1)　医師の診断書
(2)　その他

注１　出身学校関係者等が記入してください。
注２　６の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については，詳細に記入してください。
注３　本用紙に書ききれない場合には，適宜別紙に記載しても構いません。
注４　医師の診断書等の書類は必ず添付してください（コピー可）。
注５　※欄は記入しないでください。

※　大学記入欄

Ⅴ　入学者選抜方法等

理工学部の選抜は，大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

人文社会科学部，農学部及び獣医学部の選抜は，大学入学共通テストを免除し，本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等（小論文，面接），日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

1　入学者選抜方法

項目＼学部		人文社会科学部	理工学部	農学部	獣医学部
募集人員		若干名	若干名	若干名	若干名
本学で実施する教科・科目に係る個別テスト等		小論文，面接	課さない	面接	面接
日本留学試験	利用科目	文系 (日本語･総合科目･数学) 又は 理系 (日本語･理科･数学)	理系 （日本語・理科・数学） （注１）	理系 (日本語･理科･数学) （注２）	理系 (日本語･理科･数学) （注３）
	数学のコース（注４）	コース１，コース２のどちらでもよい	コース２	コース２	コース２
	理科の選択する２科目	３科目から任意の２科目選択	○化学クラス， 数理・物理クラス， 材料科学クラス， 情報系クラス， 電気電子･情報通信クラス， 社会基盤・環境工学クラス ３科目から任意の２科目選択 ○機械知能航空クラス 「物理」とその他２科目から任意の１科目選択	３科目から任意の２科目選択	３科目から任意の２科目選択
	日本留学試験の出題言語	日本語，英語のどちらでもよい	日本語	日本語，英語のどちらでもよい	日本語，英語のどちらでもよい
	日本留学試験の利用	令和８年６月又は11月のどちらでもよい	令和８年６月又は11月のどちらでもよい	令和８年６月又は11月のどちらでもよい	令和８年６月又は11月のどちらでもよい

注１）理工学部志願者は，日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解）の合計が，260点以上であることが必要です。

注２）農学部志願者は，日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解，記述），数学及び理科（２科目）の各科目の得点が平均点以上であることが必要です。

注３）獣医学部志願者は，日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解），数学及び理科（２科目）の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上），かつ日本語記述の得点が35点以上であることが必要です。

注４）コース１は，数学を必要とする程度が比較的少ない学部用
　　コース２は，数学を高度に必要とする学部用

※　大規模災害等，予期せぬ事態が発生した場合，選抜方法を変更することがあります。

2　入試日程等

⑴　人文社会科学部

10時45分までに人文社会科学部（学生センターA棟）に集合してください。（Ⅸ　建物配置及び試験場案内図参照）

年　月　日	教科・科目に係る個別テスト等	時　間
令和９年２月25日（木）	小論文	11：15 ～ 12：45
	面　接	当日指示します。

⑵ 農学部

15時50分までに農学部に集合してください。（Ⅸ　建物配置及び試験場案内図参照）

年　月　日	教科・科目に係る個別テスト等	時　間
令和9年2月25日（木）	面　接	16：00 ～

⑶ 獣医学部

15時50分までに獣医学部に集合してください。（Ⅸ　建物配置及び試験場案内図参照）

年　月　日	教科・科目に係る個別テスト等	時　間
令和9年2月25日（木）	面　接	16：00 ～

3　受験上の注意

試験当日は，下記の注意事項を守るとともに，試験場の監督者の指示に従ってください。

指示事項及び試験室等の案内については，各試験場に試験前日から掲示していますので，事前に確認してください。

試験当日は，**事前に送付する「受験番号通知」メールを白色のA4サイズ用紙に印刷の上，持参**してください。受付で本人確認後，「本学の受験票」を交付します。

⑴ **利用する成績に係る「日本留学試験受験票」及び「本学の受験票」は試験期間中必ず携帯し，係員の請求があった場合は，これを提示してください。**

⑵ 試験場には駐車場がありませんので，公共の交通機関を利用してください。

⑶ 試験場の下見は，2月24日（水）としますが，建物の中に入ることはできません。

⑷ 自然災害，悪天候等により，指示された時刻までに試験場に到着できない場合は，「受験番号通知」メールに記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。

⑸ 試験開始時刻に遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り，受験を認めます。ただし，小論文については試験時間の延長はしません。

⑹ 小論文について

① 受験の際，机の上に置けるものは「日本留学試験受験票」及び「本学の受験票」，黒の鉛筆またはシャープペンシル（黒い芯に限る），消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く），時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー･大型のものを除く），メガネ，ハンカチ（無地で，試験開始前に試験監督に申し出て許可を得たもの），ティッシュペーパー，目薬です。ティッシュペーパーは，袋から中身を取り出してください。これ以外のものは，かばんにしまって，座席の下に置いてください。

また，腕時計（計時機能だけのもの）の使用は認めますが，腕時計型端末など辞書，電卓，端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいものについては，監督者の判断により，試験場本部が試験終了まで預かる場合があります。

② **定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙**等の補助具や，**携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等），タブレット端末，電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー**等の電子機器類は使用できません。試験時間中に，これらを使用すると**不正行為となります**。

また，試験時間中に使用すると**不正行為となる電子機器類**は，試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に，これらをかばんにしまわず，**身につけていたり手に持っていると不正行為となることがあります**。

不正行為については，「4　不正行為」も確認してください。

③ 携帯電話，スマートフォン，音楽プレーヤーなどの音の出る機器は，試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。また，時計のアラーム，時報，目覚まし音等の設定についても，試験開始20分前までに必ず解除しておいてください。

④ 答案には必ず本学の受験番号を記入し，氏名は記入しないでください。

⑤ 試験開始後は試験終了まで退室を認めません。ただし，発病等やむを得ない場合の一時退室は除きます。

⑥ 答案提出前に離席してはいけません。受験中の発病等やむを得ない場合には，手を挙げて監督者の指示に従ってください。

⑦ 答案は自席で提出してください。

⑺ 面接について

試験開始後は，順番が来るまで受験者控室で待機してください。待機中に入退室を希望するときは，係員に申し出て，その指示に従ってください。

4　不正行為

⑴　次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を命じられ，それ以後の受験はできなくなります。また，受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。なお，不正行為については，必要に応じて追加的な確認を行ったり，警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

① 志願票，写真票・受験票・入学検定料納入確認票，答案へ故意に虚偽の記入をすること。（写真票に本人以外の写真を貼ることや，答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等）
② カンニングをすること。（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わること等）
③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
④ 試験時間中に，問題冊子を試験室から持ち出すこと。
⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。
⑦ 試験時間中に，**定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙**等の補助具や，**携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等），タブレット端末，電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー**等の電子機器類を使用すること。
※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等），タブレット端末等）は，かばんの中にしまっていなければ，電源が切られていても，使用しているものとし，不正行為とします。（衣類のポケット等に入れていた場合も，使用しているものとして，不正行為とします。）
⑧ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり，解答を続けること。

⑵　上記⑴以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず，不正行為と認定された場合の取り扱いは，⑴と同様です。

① 試験時間中に，**定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙**等の補助具や**電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー**等の電子機器類をかばんにしまわず，身につけていたり手に持っていること。
② 試験時間中に，携帯電話や時計等の音（着信・アラーム等）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等），タブレット端末等）は，かばんの中にしまっていなければ，電源が切られていても，使用しているものとし，不正行為とします。（衣類のポケット等に入れていた場合も，使用しているものとして，不正行為とします。）
③ 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
⑥ その他，試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

Ⅵ　合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに，合格者の受験番号を次により発表します。

学　部	合格発表の日時	方　法
理　工　学　部	令和９年２月９日（火）15時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/
人文社会科学部 農　学　部 獣　医　学　部	令和９年３月６日（土）13時	

注１）合否の問い合わせについては，一切応じません。
注２）合格電報又は合格電話の受付を行っている者がいますが，これは**岩手大学とは一切関係がありません**ので，注意してください。

Ⅶ　入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりとし，詳細については，合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

１　入学手続締切期日及び場所

合格者は，入学関係書類を取りそろえ，持参又は郵送により手続してください。

入学手続締切期日までに入学手続を完了しなかった者は，入学を辞退した者として取り扱います。

学部	入学手続締切期日	場所・時間（持参の場合）
理工学部	令和９年２月 22 日（月）	岩手大学入学手続会場 10 時から 16 時まで
人文社会科学部，農学部及び獣医学部	令和９年３月 15 日（月）	

注）郵送により手続する場合，それぞれの入学手続締切期日 16 時必着です。

持参により手続する場合，「入学手続のしおり」で手続日を指示します。

２　入学関係書類

⑴　誓約書・個人情報等の取り扱いに関する同意書

⑵　入学手続確認書

⑶　学生証用カラー写真（縦４㎝×横３㎝）１枚

⑷　入学料納入確認票

⑸　その他所定の書類

３　大学納付金（登録番号 T6400005002202 国立大学法人岩手大学）

⑴　入学料　　282,000 円（予定額）　非課税

⑵　授業料　年額　535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）（予定額）　非課税

注１）上記納付金は予定額であり，入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

注２）授業料の納入方法については，「入学手続のしおり」でお知らせします。

なお，入学手続後の入学料については，いかなる理由があっても返還しません。

４　入学料及び授業料の免除等制度

⑴　入学料及び授業料の免除

経済的理由によって修学が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，本人の申請に基づき選考の上，その全額，半額または 1/4 の額を免除することがあります。

⑵　入学料徴収猶予

経済的理由によって入学料の納付が納付期限までに困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，本人の申請に基づき選考の上，定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

５　その他の経費（令和８年４月現在）

⑴　学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償責任保険を含む）

学部４年間　4,080 円

※　獣医学部のみ　学部６年間　5,890 円

⑵　後援会，同窓会費等の諸会費（学部によって異なります。）55,000 円～ 80,000 円

６　在留資格手続について

日本に入国する前に「査証（ビザ）」を取得する必要があります。合格者の方に手続についての案内を送付しますので，必要な書類を準備して提出してください。

※　既に「留学」の在留資格で日本に滞在している方以外は，全員必要な手続です。

※　「査証（ビザ）」の取得には一定の期間を要します。

７　理工学部の特別プログラム履修生の選抜方法について

地域協創ものづくりプログラム，地域防災・まちづくりプログラムでは，入学後，履修生を追加募集することがあります。詳細については，https://www.se.iwate-u.ac.jp/ をご確認ください。

Ⅷ　個人情報の取り扱い

個人情報については，「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1．出願に当たって知り得た氏名，住所その他の個人情報は，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格者発表，③入学手続業務，④学生支援関係業務（奨学金案内・申請，学生寮案内等）を行うために利用します。

2．入学者選抜に用いた試験成績は，今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

3．上記１及び２の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

ついては，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

4．出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は，入学者のみ①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除・奨学金申請等），③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

Ⅸ　建物配置及び試験場案内図

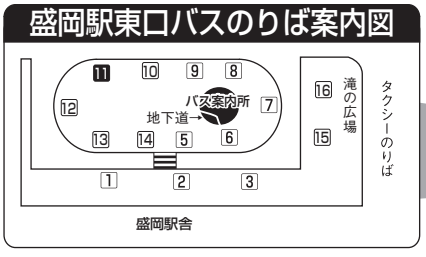
キャンパスマップ
全体図はこちら

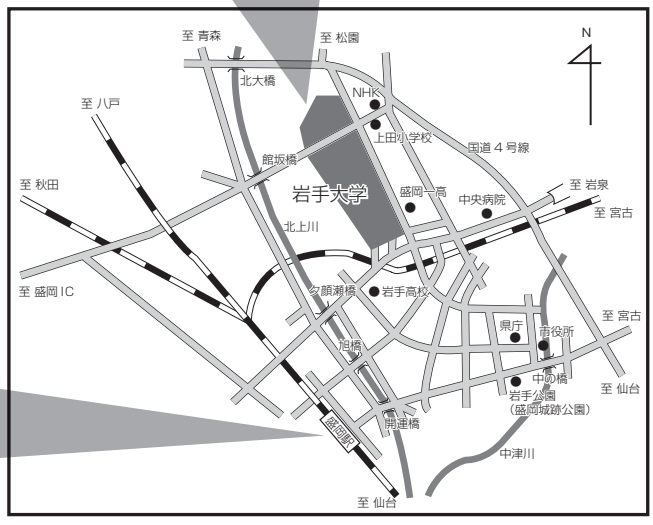


学　部	盛岡駅前（バスターミナル11番のりば）からの交通機関
人文社会科学部 教育学部 農学部 獣医学部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き〈307，334〉「岩手大学前」下車 ・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き〈311〉「岩手大学前」下車
理工学部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き〈307，334〉「上田四丁目」下車 ・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き〈311〉「理工学部東口」下車

※　本町，山岸，洞清水経由のバスには乗車しないでください。
注1）盛岡駅から約2km　徒歩約30分です。
注2）タクシー利用の場合
　　盛岡駅「タクシーのりば」から約10分です。
注3）盛岡駅行き（帰り）のバス停については，上記の案内図を参照してください。

盛岡駅東口バスのりば案内図





岩手大学への各種問い合わせについては，下記により行ってください。

問い合わせ時間等　月曜日から金曜日　8 時 30 分から 17 時 00 分まで
※ただし，祝日，全学休業日（12/28 ～ 1/3）は除きます。

★入学試験に関すること

入学試験に関する問い合わせは，志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課　　☎019－621－6064（＋81－19－621－6064）

★留学生，奨学金，学生寮に関すること

岩手大学学務部国際課　　☎019－621－6076（＋81－19－621－6076）

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課　☎019－621－6506（＋81－19－621－6506）
☎019－621－6882（＋81－19－621－6882）

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課　☎019－621－6031（＋81－19－621－6031）

岩手大学ウェブサイトアドレス　https://www.iwate-u.ac.jp/

＜不測の事態（自然災害等）が発生した場合の情報提供について＞

不測の事態（自然災害等）が発生した場合，岩手大学入学試験の実施に関する情報提供は次のウェブサイト等により行いますので，受験の前に確認してください。

岩手大学入試情報
https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html
「岩手大学トップページ」→「入試情報」

本文は森林認証紙を使用しています。